

あこやかちゃん



ゆう せい
優成ちゃん(平成21年7月10日生)
両親＝菅谷友和・ひとみさん〔江ヶ崎〕
「外遊びが大好き♡」
パパとママとたくさん外で遊ぶよ！」



とも ひろ
智大ちゃん(平成21年12月3日生)
両親＝鈴木陽雄・孝枝さん〔井戸野〕
「キュートな笑顔に皆メロメロだよ♡」



あす か
飛鳥ちゃん(平成22年6月25日生)
両親＝石井和芳・幸恵さん〔萬歳〕
「昼間はじいじとお留守番。
ぼくと仲良く遊んでね。」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

命を振り絞り子孫を残す サケ

切り身やイクラとして、おなじみのサケ。秋になると北海道や東北地方の川に上ってくることは知られていますが、市内の川にもやって来ていることを知っていますか。

○市内各地域で産卵

サケは海から新川をさかのぼり、市内各地域の小さな川に入って産卵します。市内西部の川はコンクリート張りでサケが上がるようにには見えませんが、川底に砂や砂利がたまった一角が産卵場所になっています。

○産卵は命を懸けた仕事

川に上がった雌は、尾びれを使って川底に浅い穴を掘ります。雄は雌の体をつついて産卵を促します。産卵の瞬間は雄と雌が並び、雌が卵を産むと同時に雄が精子を掛けます。川に上がると餌を食べないので、日に日にやせ細ってきます。傷口からはカビが生え、体が白く変色してきます。それでも必死に子孫を残そうとする姿は感動的です。産卵が終わると数日後には死に、死がいは、ほかの生物の栄養になります。



○北太平洋で成長

卵からかえった稚魚は、春になると海に下って北に向かい、ベーリング海やアラスカ方面で3年～5年間生活して成長し、ふるさとの川に帰ってきます。太平洋側では、栗山川がサケの上がる南限といわれています。ちなみに、川に上がったサケは法律で捕獲が禁止されています。

○サケが守りに

旧山田町の山倉大神と観福寺にはサケがまつられています。かつては栗山川をさかのぼって、神社の近くまでサケが上がつて来ていました。災いを避け(サケ)るということでサケが守りになっていくそうです。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 2日(火)～ 地区懇談会(矢指小/2日、中央小/4日、飯岡保健センター/5日、総合体育館/8日、海上公民館/9日、干潟公民館/10日 ※午後7時～9時)
- 3日(水) 文化の日
千葉県高校駅伝大会(午前9時～ 東総運動場)
黒虎相撲(午前9時40分～ 袋太田神社)
- 7日(日) ふるさとまつり・ひかた(午前9時30分～干潟中)
- 13日(土) 第6回旭市生涯学習フェスティバル(～14日(日) 東総文化会館)
- 20日(土) 第6回旭市社会福祉大会(午後1時30分～東総文化会館)
- 23日(火) 勤労感謝の日
海上産業まつり(午前10時～ 海上コミュニティ運動公園)

編集後記

みんなおめでとう！わたしの周りは今、出産ラッシュです。そんな中、妻から告げられた一言「順調だっ……」。うちにもコウノトリが飛んできたのか？と思いきや、妻は抜歯したばかりで、その経過が「順調」なんだとか。健康メモにもあるよう、歯は大事にしたいですね。ところで新米パパ・ママたち、子どもをお風呂に入れてあげるときは気を付けよう「わが子をしつかり抱いていたはずが、ズルッ、ドボンッ」という先輩パパの失敗談があります。ちなみに、そのパパはYという人物です……。(Y)